

家庭と学校・事業所での支援確認シート

課題になっていること

- 場面
- 現在の状況

● 保護者の目標イメージ

● 保護者の考え・視点

● 共通する目標イメージ

● 本人のもっている強み
(概念・スキル・興味関心)

● 本人の特性

● この協働プロセス※の中で、
共通してもつことができた支点

● 学校・事業所の
目標イメージ

● 学校事業所の考え・視点

※このシートは、家庭や学校・事業所での継続的な観察と実践のプロセスで出てきた情報を書き加えていきます。

● 支援計画 (ある一定の期間で支援ミーティングや個別の懇談を開催して計画を真もめます)

書籍『「気づき」と『できるから』はじめる自閉症支援』

「生活支援シート」にまとめる

家庭と学校・事業所での支援確認シート（記入例）

課題になっていること

- 場面: おもちゃの場面
- 現在の状況: 好きなおもちゃをしている時に次の活動（ごはん）などを提示しても移れない無理に引っ張るとかんしゃくになる。

● 保護者の目標イメージ

- ・おもちゃを言ったら終わってほしい
- ・痾癩にならないでほしい

● 保護者の考え・視点

言葉は苦手だけど、慣れたのはわかる

普段は、言葉で次の活動を提示している

うまくいかないで、次の活動の場所まで抱えたり、引っ張っている

○月△日
買い物のときには、本人の好きなおもちゃが見えないように、している

● 共通する目標イメージ

今の活動を終わって、次の活動に移ること

● 本人のもっている強み （概念・スキル・興味関心）

- ・具体物、写真 ・プットイン
- ・終わり箱
- ・スケジュールを使っている（写真）

● 本人の特性

- ・切り替えの困難さ
- ・見通しをもつことが得意でない
- ・1つのことに強く注目する

● この協働プロセス※の中で、 共通してもつことができた支点

- ・見ると強く注目する
- ・次の活動の提示は写真カード
- ・終わりボックスは有効な時もある

● 学校・事業所の 目標イメージ

生活全般で次の活動に切り替える習慣をもってほしい

● 学校事業所の考え・視点

・終わりの提示があいまいな時間では切り替えが難しい。

- ・プットインはできる

・○月×日
終わりボックスを活用する
終わりボックスの中のおもちゃが見えると、とってしまう。

・□月△日
蓋のある終わりボックスを活用する

※このシートは、家庭や学校・事業所での継続的な観察と実践のプロセスで出てきた情報を書き加えていきます。

● 支援計画（ある一定の期間で支援ミーティングや個別の懇談を開催して計画を真もめます）

- ・first-thenボックス（蓋のある終わり箱に。次の活動の提示も入れる
- ・現時点では、家では終わった後に写真で提示する。学校ではトランジションカード
- ・まずは、学校で実施する
- ・まずは、切り替えのうまくいっている活動で習慣をつくる

書籍『「気づき」と『できるから』はじめる自閉症支援』

「生活支援シート」にまとめる